

英語科 授業づくり講座

令和3年10月4日【教材研究会】
11月15日【授業研究会】

土佐市立高岡中学校

授業者 熊岡 璃星 教諭



発行
令和3年12月16日
中部教育事務所

【11月15日 本時（7時間目/全9時間）の流れ】

日本語を勉強中の Fely 先生が興味を持って学習に向かえるように、「土佐弁」についてホームページに載せる文章を書こう

【単元】第2学年 PROGRAM 6 “Live Life in True Harmony”（開隆堂）

【領域別目標】書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くようにすることができるようにする。

【単元目標】

日本語を勉強中の ALT の Fely 先生が、興味を持って学習に向かえるように、日本語やその用法について、事実や自分の考え、経験などをふまえて、まとまりのある文章を書くことができる。

【単元計画】

時間	学習内容
第1時	・本単元の見直しをもつ
第2時	・教科書本文を読み、概要を捉える
第3時	・読んだ内容について自分の言葉で伝える（書く）
第4時	「日本の曲やその歌詞の魅力」について書いて伝える
第5時	「自分の名前の漢字」について書いて伝える
第6時	「日本のことわざ」について書いて伝える
第7時	「土佐弁」について書いて伝える（本時）
第8時	「日本人がよく使う言葉」について書いて伝える

アプリケーションを使って作成したホームページに投稿し、Fely 先生が日本語を学習したい時にはいつでも見られるようにする

ホームページを見て、実際使ってみた Fely 先生からフィードバックをもらう

トピックを変えながら言語活動を繰り返し行う

1 Introduction

ALTが「土佐弁について知りたい」という内容を話す。

2 Mapping & Speaking

マッピングしたシートを基に、ペアに話す⇒ペアから質問をもらい、その内容をマッピングに加える。

3 中間評価①

代表者が Fely 先生に伝えて、質問やコメントをもらう。

4 Writing①

マッピングをもとに、タブレット端末を使って、文章を打ち込む。

5 中間評価②

- ・グループでお互いの文章を読み合い、工夫されている部分にコメントを入れる。
- ・代表者が Fely 先生に伝えて、質問やコメントをもらう。

6 Writing②

コメントも踏まえて、writing①で書いた文章を再構築し、もう一度文章を打ち込む。

7 振り返り

タブレット端末を使って授業の振り返りを、ポートフォリオに打ち込む。

今日の活動の目的が明確になり、「どうすれば伝わりやすい文が書けるか」という問いをもちながら活動を進めることができる。

相手の話を聞いて、内容をさらに深めるための質問をする力を育てる（良い聞き手を育てる）ことも大切。

ペアや実際に伝える相手の ALT に質問をもらうことは、さらに伝わりやすい文を書くためのヒントになる。

思考ツールを活用することで、まとまりのある文章が書きやすくなる。

タブレット端末を使うと、友達の文を一度に手元で読むことができ、使えそうな文は参考にできる。

活動の目的、場面、状況等がはっきりしているからこそ、中間評価が生きてくる。

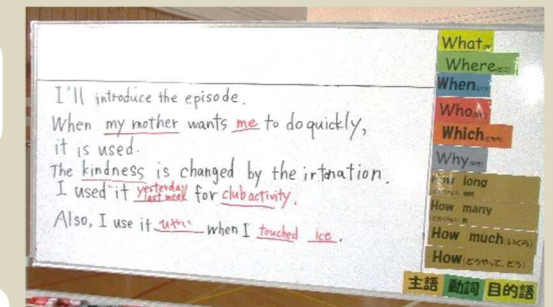
タブレット端末を使ってデータ入力してあれば、Writing①で書いたものに、加筆修正を加えやすい。

書く力を付けるための時間なので、書く活動を2回設定し、活動の間には中間評価を入れている。

ポートフォリオとして書き溜めていくことで、生徒自身の成長を振り返ることができる。



代表生徒が発表した文を「キーワード」でまとめ、クラスみんなが参考にできる形で示している。



Also, I use _____ when I _____. など、汎用性のあるものを文レベルで板書に残している。

● 作文の過程に必要なこと

- ✿ 文章化する時には、単語や文法、文構造を練習することも大切だが、ある文脈の中で「どのように言葉を使うかの判断をすること」が大切である。
- ✿ 練習の場面では、文脈や場面を意識させることが必要である。
- ✿ 言語習得は、その言語材料の形と場面がセットになった時に身に付く。



東京家政大学
太田 洋教授より

場面とセットで言語材料を使わせるからこそ、It is used ~. (受動態) I use ~. (能動態) の使い分けが自然にできている。

友達の文を読み、when はエピソードを説明する時に有効で、also は2つ目の例を挙げたい時に有効であると気付くことができる。

視点：付けたい力を育成する単元計画となっているか

付けたい力を明確にした上でスパイラルに計画されている。

内容面での中間評価はあるが、言語面での中間評価はどうするのか。

スローラーナーへの手立てを考えていく必要がある。

どの時間のトピックも生徒に身近な内容となっている。

紹介したい土佐弁のマッピングに時間がかかるのではないか。

教科書の内容と関連付けた言語活動の設定を行うことが必要。

教材研究会（10月4日）の協議より

	Round 1	Round 2
Intro	Do you know ひやい? It means cold.	Do you know ひやい? It means cold.
Body	ひやい is used in Kouchi. It is called さむい in standard Japanese. It is also used in Yamaguchi and Hokkaidou. ひやい is opposite from めくい. When I ate ice cream I use ひやい. If you out on a cold winter day you can speak ひやい.	ひやい is used in Kouchi. It is called さむい in standard Japanese. It is also used in Yamaguchi and Hokkaidou. ひやい is opposite from めくい. I'll introduce the episode. When my mother has ice, it is used. Also I use(d) it ひやい when I touched ice. When I ate ice cream(,) I use(d) ひやい. If you (are) out on a cold winter day, you can speak ひやい. I used it yesterday for out on a winter day.
Conclu	Please use it.	Please use it.

【生徒のライティング文】